

保護者の方へ

～熱中症対策について～

熱中症予防の指標として、①気温、②湿度、③輻射熱の3つを取り入れた、「暑さ指数（WBGT）」があります。学校ではWBGT計でこの指数を測定し、横浜市教育委員会事務局において策定された「横浜市立学校熱中症対策ガイドライン」（令和5年5月）に沿いながら、運動や校外学習において、その時の気象状況や子どもの発達段階などを十分に考慮し、児童の安全を第一に考え対応していきます。

横浜市教育委員会事務局「横浜市立学校熱中症対策ガイドライン」より

暑さ指数		学校生活を安全に過ごすために
WBGT 33℃以上	運動は中止	活動する区域に熱中症警戒アラートが発表された時は、活動場所での暑さ指数を確実に測定する。
WBGT 31℃以上 乾球温度（目安）35℃以上	危険 （運動は原則中止）	体育などの運動は原則中止する。 屋外や体育館での活動は、中止または活動時間を短縮する。
WBGT 28～31℃ 乾球温度（目安）31～35℃	嚴重警戒 （激しい運動は中止）	激しい運動や持久走など体温が上昇しやすき運動は原則中止する。
WBGT 25～28℃ 乾球温度（目安）28～31℃	警戒 （積極的に休息）	積極的に休息をとる。激しい運動の場合は、30分おきに1回以上の休息をとるとともに、水分・塩分を補給する。
WBGT 21～25℃ 乾球温度（目安）24～28℃	注意 （積極的に水分補給）	運動の合間に積極的に水分・塩分補給を行う。
WBGT 21℃未満 乾球温度（目安）24℃未満	ほぼ安全 （適宜水分補給）	適宜水分・塩分補給を行う。

～受診のおすすめについて～

6月末で定期健康診断が終了します。「受診のおすすめ」をもらったけれど、まだ受診をされていない方は早めの受診をおすすめします。学校での健康診断は、限られた設備や時間の中でのスクリーニング（病気の可能性を見つけること）ですので、受診の結果「異常なし」と診断されることもあります。ご了承ください。

